

2022年度 第9回豊岡市教育委員会の会議（定例会）会議録

○ 開会及び閉会の日時及び場所

2022年12月21日（水）

場 所 豊岡市役所但東庁舎2階 大会議室

所 在 地 豊岡市但東町出合150号

開会時間 午後1時30分

閉会時間 午後3時00分

○ 出席委員の氏名

| | |
|--------------|-------|
| 教育長 | 嶋 公 治 |
| 委員（教育長職務代理者） | 佐伯 和亜 |
| 委員 | 向井 美紀 |
| 委員 | 飯田 正巳 |
| 委員 | 成田 壽郎 |

欠席委員 なし

○ 教育長、委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

| | | |
|-----|-----------------------|--------|
| 事務局 | 教育次長 | 正木 一郎 |
| | 教育総務課長 | 永井 義久 |
| | こども教育課長 | 和田 晃典 |
| | こども教育課参事（こども支援センター所長） | 惠後原 博美 |
| | こども育成課長 | 吉本 努 |
| | 教育総務課課長補佐 | 植田 真美 |
| | 教育総務課教育総務係長 | 藤田 祐 |

○ 日程

第1 会議録署名委員の指名

向井 美紀 委員

第2 前回の会議録の承認

2022年11月24日（木）開催 第8回定例会

第3 教育長の報告

第4 議事

- 議案第23号 豊岡市奨学金規則の一部を改正する規則制定について
- 議案第24号 豊岡市交通遺児奨学金規則の一部を改正する規則制定について
- 報告第32号 令和4年度12月補正教育関係予算案に関する意見について

- 報告第33号 寄附物件の受納について
- 報告第34号 令和4年12月市議会答弁概要について

第5 教育委員会事務局の報告

1 教育総務課

- (1) とよおか教育プラン2023年度実践計画策定の進め方について
- (2) 竹野地域施設一体型小中一貫校に係る今後の進め方について

2 こども教育課

- (1) 2022年度卒業（園）式・2023年度入学（園）式等日程について
- (2) 生徒指導について
- (3) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について

3 こども育成課

- (1) 2023年度幼稚園・保育所・認定こども園・放課後児童クラブの申込み状況について

第6 委員活動報告

第7 教育委員会活動予定

- 1 次回教育委員会会議の日程について
- 2 今後の活動・行事予定

開会 午後1時30分

(教育長)

ただ今から、2022年度第9回教育委員会会議を開会します。本日はすべての委員が出席していますので、会議が成立していることを報告いたします。

【日程 第1 会議録署名委員の指名】

(教育長)

日程第1 会議録署名委員の指名です。本日は、向井委員にお願いしたいと思いますのでよろしく申し上げます。

【日程 第2 前回の会議録の承認】

(教育長)

続きまして、日程第2 前回の会議録の承認についてです。11月24日に開催しました第8回定例教育委員会会議の会議録について、委員の皆さんの承認を求めるものです。誤った点・修正などございませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

「なし」という声がありますので、会議録については承認することに決定いたします。

【日程 第3 教育長の報告】

(教育長)

日程第3 教育長の報告です。前回11月24日の教育委員会会議から、本日の会議までの私の主要な教育活動の概要について報告いたします。本日配付した資料をご覧ください。

《教育長の報告概要》

先ほどお配りしました文書「お礼と感謝」は、教職員向けに書いた文書ですけれども、読んでいただきたいと思います。また、12月12日から12月15日まで市議会の一般質問がありました。今回たくさん出た質問は、部活動の地域移行についてです。教育委員会として、どのような考えを持っているのかを話しておきたいと思います。

まだ国から明確な方針が出ておらず、持っている情報としては県も市と同じだということ、先行事例を参考に地域の実情に合わせて、検討を進めていただきたいということ、そして、県としては、各地域にどのような受け皿があるのかを調査していくということです。スポーツクラブ21の受け皿がどうなのかということについては、すでに調査結果をいただいておりますが、それ以外のことについては、これから調査結果をいただくことになります。これから国の情報が入り次第、部活動の地域移行についての説明会を開きたいということでした。

このような状況の中、現在の制度の中で考えられる課題としては、但馬地域では受け皿が圧倒的に少ないということです。今年度、豊岡市の場合、部活動指導員については1人しかいないという状況ですので、それぞれ受け皿になる団体があるのかどうかについては、但馬地域はもちろん、人口の少ない地域では一番の課題だと思います。

そして、平日部活動と休日部活動で指導者が変わりますので、指導の一貫性において、生徒が戸惑わないようにしなければならないことです。それから、スキルアップして大会で好成績を目指して上に行きたいと思う生徒や保護者がいる一方で、スポーツの楽しさや仲間との触れ合いを第一に求める生徒や保護者がいます。部活動に対するニーズとして、どちらを優先するのかということもあります。また、拠点方式にすると、豊岡市は面積が広いので、生徒の移動にかなり時間がかかることがあります。

平日と休日で違う部活動に入ることも可能になってきます。そうした場合、どちらの大会に出場するのかという課題も出てきます。そして、受け皿を民間の団体にした場合、指導者への報償費や施設利用費、保険、交通費等の保護者負担をどうするのかという課題も出てくることも考えられます。

その辺りは今後の国の制度設計を待ちながら進めていきたいですが、今年度中に、教育委員会、文化・スポーツ振興課、中学校の代表、中学校体育連盟の代表が集まり、どのような課題があり、現在の豊岡市ではどのようなことが想定できるのかという会議を開催する予定です。その会議を踏まえ、国から検討委員会を設立するよう通知が来ており、2023年度5月頃に検討委員会を開催したいと考えています。検討委員会のメンバーは、先述のメンバーに加え、スポーツ団体、豊

岡スポーツ協会、スポーツクラブ 21、スポーツ推進委員会、文化協会、吹奏楽連盟、中学校長
会、中学校体育連盟、教職員の代表、PTAの代表等に入ってもらい、豊岡市としての考え方を
整理し、2024年度からいずれかで先進的に取り組みたいと考えています。

【日程 第4 議事】

(教育長)

日程第4 議事に移ります。議案第23号 豊岡市奨学金規則の一部を改正する規則制定につ
いて、教育総務課長の説明をお願いします。

○ 議案第23号 豊岡市奨学金規則の一部を改正する規則制定について

《教育総務課長の説明概要》

豊岡市奨学金規則の一部を改正する規則制定について、資料に基づき説明する。

改正理由は、奨学生となる資格要件を緩和するためである。第2条中第3号中「人物及び学力
が優秀な者で、」を削ったうえで、第4号に繰り下げ、第4号としていたものを第3号に繰り上
げる。

奨学金を希望する方が少なくなってきたことや、コロナ禍が続く中で学びの継続を支援するた
めにも時代の状況に合わせて基準の見直しを検討していくことが理由としてあり、要件を緩和す
るものである。

内規の学業、人物、経済状況の3つの要件のうち、学業においては、基準が厳しいことがあり、
過去基準を超えていない方もおられたが、選考は総合的に判断いただいていた。

2023年度の募集については、1～2月に始めたいと考えている。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(飯田委員)

私は今まで奨学生選考委員を務めさせていただいています。「人物及び学力が優秀な者で、」を
削ることにより、選考の判断基準を学校長に委ねてしまっているように思えてしまいます。選考
のときに、今までは3つの要件が判断基準としてありましたが、今度から2つになるため、もう
少し何らかの判断基準になるものがあればよいと思いました。

基本的には、奨学金をより多くの人に有効に利用してもらい、子どもたちがしっかり勉学して
くれば、一番よいですが、選考での見極めが非常に難しいです。

(教育総務課長)

要件の経済状況では、基本的に大学生は日本学生支援機構の基準を準用しています。

奨学金を希望する理由として、将来の夢などを含め、作文を書いていただいております。奨学金を
借りてでも修学したいという気持ちが大事だと思っています。加えて、推薦調書では身近に学校
が学生・生徒の状況を見られて、所見を書かれていますので、そうした点を重視できればと思い
ます。

(佐伯委員)

「人物及び学力が優秀な者」が削除されると、成績が芳しくない人でも希望して、学校長の推薦さえあれば借りられるということになりますか。

(教育長)

全国的に給付型奨学金が増え、貸与する奨学金が減っています。豊岡市の子どもたちについて、学力があればもちろんよいことですし、人物もよければなおよいことですが、コロナ禍で大変な家庭が増えていることも考慮しながら、できるだけ多くの人に利用してもらいたいということが改正の一番の背景としてあります。成績の評価は学校によっても違いますが、学校長の判断を基にしつつ、収入も見ながら、できる限り多くの人を支援したいという思いがあります。

(教育総務課長)

国も 2024 年度に向けて、中間所得層の方も見てあげようと検討していますし、奨学金の返還を出世払いにすることも検討されています。こうした子どもを支えようという風潮の中で、どう対応していくのかということについては、重要なことと考えており、成績要件では少しハードルが高いということがあり、過去の実績のこともありますので、今回、実態に改めるという部分があります。

(向井委員)

働きながら長期にわたって返済を続けるのは、とても大変なことです。家庭を持ったりする中で返済していくことの大変さを理解したうえで、それでも進学したいという意欲があるのであれば、その意欲を尊重してあげたいと思います。その希望者を身近で見ておられる学校長の推薦を受けられるのであれば、よいのではないかと思います。

(教育次長)

第2条の第3号と第4号の順番を入れ替えています。順番を変えたのにも意味があり、以前は成績を上に見ていたのですけれども、意欲を上に見ていこうという意図で順番を変えています。では、勉学の意欲を何で見るといって、奨学金を希望する理由の作文になってくるかと思えますので、勉学の意欲という部分を引き出すような工夫をしていければと思います。

(成田委員)

選考委員として選考する際の根拠が少し弱くなるのではというような、選考委員としての責務の問題を感じると思われますが、説明等を聞き、改正の趣旨についてはよく理解できましたので、よいと思います。

(教育長)

それでは、議案第 23 号 豊岡市奨学金規則の一部を改正する規則制定について、原案のとおり可決してよろしいでしょうか。

(委員)

異議なし

(教育長)

議案第 23 号 豊岡市奨学金規則の一部を改正する規則制定について、原案のとおり可決します。

続きまして、議案第24号 豊岡市交通遺児奨学金規則の一部を改正する規則制定について、教育総務課長の説明をお願いします。

○ 議案第24号 豊岡市交通遺児奨学金規則の一部を改正する規則制定について

《教育総務課長の説明概要》

豊岡市交通遺児奨学金規則の一部を改正する規則制定について、資料に基づき説明する。

改正理由は、奨学生の資格要件を緩和するためである。第2条中第3号中「人物及び学力が優秀な者で、」を削る。

この規則は、令和5年1月1日から施行する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

異議なし

(教育長)

議案第 24 号 豊岡市交通遺児奨学金規則の一部を改正する規則制定について、原案のとおり可決します。

続きまして、議事（報告）に移ります。報告第32号 教育長が臨時に代理した令和4年度12月補正（第9号）教育関係予算案に関する意見について承認を求めることについて、こども教育課長の説明をお願いします。

○ 報告第32号 教育長が臨時に代理した令和4年度12月補正（第9号）教育関係予算案に関する意見について承認を求めることについて

《こども教育課長の説明概要》

歳出は、感染症対策事業費 3,000,000 円を計上している。新型コロナウイルス感染症対策保健衛生用品として、マスク、消毒、手袋などの購入費である。

歳入は、教育費国庫補助金 1,500,000 円を計上している。学校保健特別対策事業費補助金とし、国の補助金2分の1を活用するものである。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、報告第 32 号 令和 4 年度 12 月補正（第 9 号）教育関係予算案に関する件について、教育長が代理執行を行ったことをご承知おきください。

続きまして、報告第 33 号 寄附物件の受納について、教育総務課長の説明をお願いします。

○ 報告第33号 寄附物件の受納について

《教育総務課長の説明概要》

寄附物件の受納について、資料に基づき説明する。

団体 3 件の寄附申出があり、これを受納したので報告する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、寄附物件の受納を行ったことをご承知おきください。

続きまして、報告第 34 号 令和 4 年 12 月市議会答弁概要について、教育次長の説明をお願いします。

○ 報告34号 令和4年12月市議会答弁概要について

《教育次長の説明概要》

令和 4 年 12 月市議会の答弁概要について、資料に基づき説明する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(教育次長)

新聞報道等でご覧になっているかと思いますが、組織再編の議案については過日の総務委員会で継続審査となっております。

(飯田委員)

議案全体が継続審査ということでしょうか。それとも、コウノトリ共生部についての部分だけでしょうか。

(教育次長)

議案としては、全体が継続審査ということになります。

(教育長)

答弁にかかる不登校に悩む子どもと家族の支援については、不登校対応マニュアルや不登校対策委員のメンバーを変更することを前提に検討していくよう担当課に依頼しました。子どもが学校に来るようになればもちろんよいのですが、学校に来させることのみを目的にするのではなく、いろいろな方々に委員のメンバーに入ってもらい、子どもたちが自立するためにはどのように支援すればよいのかを協議し、マニュアルを作成していきたいと思っています。

わくわくオーケストラ教室事業については、県教育委員会但馬教育事務所に対して、豊岡市にはいろいろな機会があるので、豊岡市なりの但馬地域に合う方法で情操教育を実施することがよいのではということをお伝えしています。

放課後児童クラブの運営については、昨日の校園長会で除雪の状況把握を依頼しているところです。

(教育長)

その他質問等はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、令和4年12月市議会の答弁概要について、ご承知おきください。

【日程 第5 教育委員会事務局の報告】

(教育長)

日程第5 教育委員会事務局の報告に移ります。教育総務課 (1) とよおか教育プラン 2023 年度実践計画策定の進め方について、教育総務課長の説明をお願いします。

1 教育総務課

(1) とよおか教育プラン2023年度実践計画策定の進め方について

《教育総務課長の説明概要》

とよおか教育プラン 2023 年度実践計画策定の進め方について、資料に基づき説明する。

第4次とよおか教育プラン 2022 年度実践計画の策定の考え方として、原則 2021 年度実践計画の指標および取組を踏襲する。ただし、今般の新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた見直しを行う。

実践計画策定における基本事項として、取組「子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭（おんぷの祭典）」については 2023 年度実践計画から外している。市文化芸術振興計画の中で、おんぷの祭典については記載されており、また文化的な取組という位置付けがあるため、今回の組織改編に合わせて計画から外すものである。

策定スケジュールは、1月中旬に関係課で素案の協議に入り、2月下旬に教育委員協議会を開催し、意見提案をいただき、3月下旬の定例教育委員会で審議・決定いただく予定である。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、(2) 竹野地域施設一体型小中一貫校に係る今後の進め方について、教育総務課長の説明をお願いします。

(2) 竹野地域施設一体型小中一貫校に係る今後の進め方について

《教育総務課長の説明概要》

竹野地域施設一体型小中一貫校に係る今後の進め方について、資料に基づき説明する。

2022年11月29日に、竹野地域の関係者に対し、これまで行ってきた竹野地域での説明会の結果を伝えるとともに、竹野地域施設一体型小中一貫校にかかる今後の進め方について協議を行った。

協議内容について、具体的に竹野地域施設一体型小中一貫校開設準備委員会（仮称）を2023年2月頃に設置したい。委員は、区長やPTA保護者、学校関係者など20人程度で構成し、任期を2023年2月から開校までの間としたい。

所掌事務については、義務教育学校にするのか、施設一体型小中一貫校とするのかということや、施設機能、校名・校歌・校章、PTAの運営、記念行事等について意見をいただく予定である。

今後の流れとしては、2025年度の開校に向け協議いただく予定である。

また、昨日、竹野認定こども園PTAの要望を受け、保護者対象に説明会を開催したところ、移住している方からぜひメンバーに入りたいとの意見をいただいたり、その他にも、よい機会なのでこれからの竹野地域の教育について考えたいという意見をいただいたりした。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(向井委員)

委員の構成について、11月29日の竹野地域での説明会のときにも「保護者を中心としたメンバーとしてほしい」という要望が出ていたと思います。その点についてはいかがでしょうか。

(教育総務課長)

竹野地域での説明において、たくさんの保護者がメンバーに入りたいと意見がありました。20人程度としていますが、例えば、分科会のような形に参加いただくことは可能だと考えます。これから教育を受ける児童の保護者に意見を聞くべきだと考えますので、開設準備委員会委員にならない方にも、積極的に意見を伺いながら進めていきたいと思っております。

(飯田委員)

豊岡市のモデルとなりますので、しっかりと議論していただいて、いろいろな意見を出しながらまとめていくよう、よい方向で進めていただきたいと思います。

(教育総務課長)

開設準備委員会とは別に、分科会等の中で十分議論いただいたり、特にPTAは学校間で議論されたりする機会もあつたりします。その辺りは柔軟に考えていきたいと思っています。

(教育長)

移住者も含めて、若い方が一番興味を持たれているのは、校名や校則等ではなく、教育課程です。どのような教育を実践するのかということに興味を持たれており、そのことが本質であり重要に考えたいと思います。分科会にするのかどうかについては検討しますが、「ああでもない、こうでもない」などと協議し、擦り合わせをしながらよい形で進めていきたいと思っています。

(教育長)

続きまして、こども教育課からの報告に移ります。(1) 2022年度卒業(園)式・2023年度入学(園)式等日程について、こども教育課長の説明をお願いします。

2 こども教育課

(1) 2022年度卒業(園)式・2023年度入学(園)式等日程について

《こども教育課長の説明概要》

2022年度卒業式(園)式・2023年度入学(園)式等日程について、資料に基づき説明する。

2022年度の卒業式は、中学校が3月9日(木)、小学校が3月23日(木)、幼稚園・認定こども園の卒園式は3月17日(金)に実施する。修了式は、小中学校が3月24日(金)、幼稚園・認定こども園が3月20日(月)となっている。

また、2023年度の小中学校の入学式は、4月10日(月)、幼稚園・認定こども園の入園・進級式は4月12日(水)に実施する。始業式は、小中学校が4月7日(金)、幼稚園・認定こども園が4月11日(火)となっている。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(佐伯委員)

静修小学校と高橋小学校の閉校式は3月25日でよいですか。

(教育総務課長)

いずれも3月25日に予定しています。

(佐伯委員)

の説明をお願いします。

(3) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について

《こども支援センター所長の説明概要》

豊岡市こども支援センター活動状況報告について、資料に基づき説明する。

不登校の取組状況は、通級児童生徒数は実数 13 人、延べが 69 人である。教育相談には、不登校相談等を 10 人が利用した。

特別支援の取組状況は、電話相談は 27 件、来所や学校園を訪問しての相談は 72 件、検査は 13 件実施した。

家庭児童相談の取組状況は、11 月の虐待通告では、心理的・身体的虐待のケースで、2 世帯 4 人の通告等があった。家庭相談員が対応した件数は 580 件であり、家庭訪問は 57 回実施した。個別支援会議は 1 件で、支援方針を協議した。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(教育長)

こども支援センターがアイティ 7 階に移り、オープンしたのが 11 月 1 日ですけれども、この約 1 カ月で、アイティに移転したことにより、よい面など見えてきていることはありますか。

(こども支援センター所長)

ふれあいルームの環境が新しくなり、明るくなりましたので、子どもたちからも「きれいで、明るく、とてもよくなった」などの声を聞いています。

(教育長)

アイティに移転したことをきっかけに通級し始めた子どもはいますか。

(こども支援センター所長)

はい、おられます。理由として、新しい建物に変わったということと JR の駅から近いことがあると思います。JR で来る方が増えており、少しでも行けるようにと子どもの定期を買うなどご協力いただいている保護者もおられます。

(佐伯委員)

子どもたちはお弁当を持参するのですか。

(こども支援センター所長)

基本的にはお弁当を保護者が作って、持参するのですが、毎日になると保護者が大変ですので、子どもたちがアイティ 1 階の食料品売り場に行き、戻ってみんなで食べています。

(佐伯委員)

同じ建物内で、そうしたことができるのはよいことですね。

(向井委員)

いろいろな人と関われることもよいですね。

(教育長)

続きまして、こども育成課からの報告に移ります。(1) 2023 年度幼稚園・保育所・認定こども園・放課後児童クラブの申込状況について、こども育成課長の説明をお願いします。

3 こども育成課

(1) 2023年度幼稚園・保育所・認定こども園・放課後児童クラブの申込み状況について

《こども育成課長の説明概要》

2023 年度幼稚園・保育所・認定こども園・放課後児童クラブの申込み状況について、資料に基づき説明する。

2022 年 11 月 30 日締切時点の申込み状況について、幼稚園は現在の 11 園から来年度 6 園になり、申込者数は 70 人である。2022 年 12 月 1 日現在の在園児が 88 人であり、18 人減が見込まれる。就園率では、4 歳児は 10.4%。5 歳児は 16.1%となる。寺坂幼稚園については、来年度の申込者がいないため、現時点では、今年に引き続き、来年度も休園を想定している。

保育所・認定こども園の申込み状況について、申込者数のうち教育認定児は 157 人、保育認定児は 2,254 人であり、合計 2,411 人である。昨年度 2,517 人より 106 人減になる。児童数に対する申込率では、84.0%になる。

また、推計値ではあるが、0 歳児の総数が 400 人台を割り込み、389 人となり、かなり少子化が進んでいる状況があるため、今後、この辺りの動向を見ていかななくてはならない。

放課後児童クラブの申込み状況について、来年度、小学校との統廃合の影響もあり、静修放課後児童クラブと高橋放課後児童クラブを廃止する。また、幼稚園の閉園に伴い、一部の園舎を児童クラブの専用施設にしたいと考えており、神美第 2 放課後児童クラブを廃止する予定である。申込み総数としては 1,417 人であり、昨年度 1,487 人より 70 人減となる。内訳として、小学生は 1,377 人で、昨年度 1,429 人より 52 人減になり、幼稚園は 40 人で、昨年度 58 人より 18 人減となっている。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(向井委員)

豊岡めぐみ幼稚園と豊岡ひかり幼稚園が統合する豊岡幼稚園は、5 歳児 4 人となっていますが、折角、統合するのに寂しい人数ですね。

(飯田委員)

寺坂幼稚園は来年度休園になりますが、その次の年度はどうなりますか。

(こども育成課長)

対象の児童数がかかなり少なくなっていますので、新たに幼稚園を希望される方は少ないのではないかと予想しています。希望者がおられるのかどうかについては、その年に確認したうえで、最終的に判断させていただきたいと思っています。現時点では、来年度は休園予定としています。

(教育長)

その他質問等ありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

これで各課からの報告を終了します。

【日程 第6 委員活動報告】

(教育長)

続きまして、日程第6 委員活動報告に移ります。

(成田委員)

ローカルな話になります。豊岡地域から出石川沿いに出石地域に入る、右手に出石中学校が見える交差点では、小坂・小野方面から中学生が歩道のないところを自転車で登下校していますが、とても危ないなという思いがありました。小坂・小野方面から交差点に向かっては坂道になっており、自転車を立ち漕ぎしながら、中学生が来るのですけれども、いろいろな方面から来る車が交差しています。少し前から工事しており、きれいな歩道がつき、自転車と自動車を分けるガードレールが設置され、安全性が向上しました。そして、朝早く薄暗いときには、信号に赤い点滅がつくように改善されました。これはこの場所が危険であることに気づいていた方からの声などにより改善されたものだと思いますが、大変嬉しく思っています。

また、11月末にWACCU TOYOOKAで開催されたわくわくまつり 2022 についてです。当日、いろいろなところを回って、市職員等の皆さんにお話を聞かせてもらったところ、とても明るく、実施内容などを説明していただき、子育ての方法についての意欲を感じました。市国際交流協会も参加しており、国際交流について積極的に説明していただきました。ステージイベントでは、豊岡市少年少女音楽隊の合唱等があり、たくさんの親子連れが楽しんでいました。非常に活気のある楽しいイベントでした。

市民交流広場には高校生も来ていますし、4階には高齢者の教室もあります。様々な年齢層の、多様な人々が交流しているととてもよい場所だと思いました。これからも活気あふれる、よい子育ての環境が進んでいくことを願っています。

(佐伯委員)

私事になりますが、息子が朝、一人で登校したときに、見知らぬ男性に長い時間付いてこられて、恐怖を感じたようです。途中で何とか男性に追い越してもらおうことを考えて、追い越しても

らったのですが、それでも、男性は何度も後ろを振り返ったり、立ち止まって息子が先に行くように待ったりする行動がありました。

昨日、学校の担任の先生に報告すると、最近そうした事案が数件あるようで、すぐに警察に通報すると言われたそうです。明るい朝のことでしたし、男子生徒に付いてこられることは考えてもいなかったのですが、私も驚きました。担任の先生から「朝、一人のときは送ってあげてください」と言われましたので、今は送るようにしています。冬は暗くなるのが早いですが、最近、部活動で遅くなっても、子どもたちが一緒に帰る機会が少なくなっているように思います。学校でも、「暗くなったときは一人で帰らない」「朝の登校の際も、何人かで登校しましょう」という声掛けをしていただければありがたいと思いました。

(向井委員)

活動は特にありませんでした。先日、テレビ番組で発達障害について取り上げていました。発達障害の子どもには、その子どもの好きなことをずっとさせていると脳によい影響があることが解明されたという内容でした。先ほど、教育長から配布された「お礼と感謝」を読んでいて、ふと、そのことを思い出しました。豊岡のいろいろな方が好きなことをやり続けて、今こうやって、活躍できているのだなと思いました。ずっと好きなことだけするというのでは困るのかもしれませんが、特に発達障害の子どもにとっては、そうしたことがよい影響を及ぼすのだと思います。先生方もご存じと思いますが、意識して、好きなことを伸ばしてあげてほしいと思いました。

(飯田委員)

5点報告します。1点目は、11月27日に小学生但馬バンドフェスティバルが朝来市のジュピターホールであり、入場制限をしながら開催されました。日高小学校が出場するため、行ってきました。とても素晴らしい演奏会であり、より大勢の人に聴いてもらいたいので、早く以前のよ様な日常が戻ればよいなと思いました。

日高小学校の様子を聞くと、中学生の吹奏楽部の生徒2人が来て、一緒に練習したり、指導してくれたり、当日の応援出演もしてくれたりしたそうです。そのおかげで、子どもたちの上達が早く、当日の演奏にもよく表れたと先生がおっしゃっていました。

2点目は、12月1日に新文化会館の市民説明会に出席しました。市としては、出席いただいた皆さんに内容を知ってほしいということで開催した説明会でしたが、来られた方から多くの建設反対の意見が出ていました。反対することは説明会の趣旨とは違うのではないかと思いました。別の日に、知り合いの方と話す機会があり、説明会に参加したかどうかを聞くと、「参加していない」ということでした。説明会に参加せずに、また内容も聞かずに、「反対」と言っていることはよくないと思います。私たちを含め、一人ひとりがまちづくりにもっと関心を持ち、積極的に関わっていくことが大事だと思いました。

3点目は、12月3日に日高文化体育館で開催された金管五重奏コンサートを聴きに行ってきました。養父市出身のトランペット奏者の西谷良彦さんを含む5人のアンサンブル・グループが、故郷でコンサートを開催するという事で多くの人が集まっていました。語りも上手でしたし、出身地での開催ということもあり、聴く側も大変身近に感じられて、素晴らしい演奏会でした。こうした素晴らしい方が活躍されているので、出身地ということをもっと上手に活用する方法があればよいと思いました。

4点目は、12月市議会を傍聴しました。私もスポーツに関わっていますので、部活動の地域移行について、先生やいろいろな方に話を聞く機会があります。部活動の顧問を務める先生によると、教科を教えることも大事だけれども、部活動をしたくて先生になった方も結構おられるということでした。そうした先生たちの意欲ややりがいを、どのように維持していくのがよいのかということも大事だと思いました。時間外勤務の増加の問題とは別に、どのように豊岡市式の働き方改革を進めていけばよいのかを考えさせられました。今日の新聞記事に、裁量労働制について載っていました。教職員について、こうした裁量労働制を取り入れるなどし、何かしらよい方法ができないものかと思いました。私ももっと勉強しなければならないのですが、豊岡市の新しい部活動のあり方を模索できればと思いました。

5点目は、12月18日に神鍋高原スキー発祥100周年記念式典に参加しました。2023年2月12日に100周年の節目を迎えます。神鍋高原は山奥ですので、かつて、雪は過酷で、必要ないものだったのですが、それを宝に変え、観光地として発展してきたことについては、地域や地元感謝しなければなりません。人口は減っていますが、地元に住む者はそのことを忘れることなく、改めて自分の住むところに感謝することがとても大事だと思知らされました。

(教育長)

部活動については、部活動をしたいという先生がいます。教職員組合が昨年実施した調査では、全体の36%が部活動をしたいと回答しています。加古川市でも同じような調査を実施しており、30%が部活動をしたいと回答しています。兼職・兼業を申請し、教育委員会が認めれば、時間外勤務80時間以内であれば、認めることができますが、豊岡市の何人の先生たちが部活動をしたいと思っているのかということについては、今後詳しく調査したいと思います。いずれにしても、指導者がいないので、先生たちの力を借りないと部活動の地域移行はなかなか難しいです。調査した結果を踏まえて、地域移行に取り組んでいきたいと思います。

また、演劇ワークショップを実施するに当たり、ガバメントクラウドファンディングという、行政施策に焦点化したふるさと納税を活用しています。今年4年目であり、当初は目標の1,000,000円を到達できるかどうか不安でしたけれども、現在8,400,000円に達しています。支援者も約130人います。平田オリザさんや担当部署の大交流課にこれだけ集まった原因を聞いても、思い当たることがないということでした。外から演劇ワークショップへの視察も多いですし、秘書広報課が演劇ワークショップの広報用ビデオを作成しており、そうしたものも見ていただいたり、これまでの3年間、教育委員会が取り組んできたことが少しずつ広がっているのかなと推測しています。とても嬉しいことです。だから、みんな自信を持って取り組んでいきましょうと昨日の校長会で話したところです。

【日程 第7 教育委員会活動予定】

(教育長)

続きまして、日程第7 教育委員会活動予定に移ります。会議予定や、今後の活動について、事務局の説明をお願いします。

1 次回教育委員会会議の日程について

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

第10回定例教育委員会会議は、1月26日（木）午後3時30分から、本庁舎3階庁議室で開催する。

2 今後の活動・行事予定

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

今後の活動・行事予定について、資料に基づき説明する。

（教育長）

以上で日程は終了となりますが、全体を通して何かありませんか。

それでは、次回の教育委員会会議は、1月26日（木）午後3時30分から、本庁舎3階庁議室で開催します。

これをもちまして、第9回教育委員会会議を閉会いたします。

閉会 午後3時00分

この会議録は、会議の内容と相違ないことを証します。

2022年12月21日

教育長

委員